

本のまちビジョン 検討委員会 説明資料

明石市政策局プロジェクト推進室
本のまち担当



もくじ

- 1 あかしSDGs推進計画について
- 2 「本のまち明石」の取組について
- 3 市民活動者等の取組と課題について
- 4 「本のまち明石」のこれから
- 5 ビジョン検討委員会のスケジュール案について



もくじ

- 1 あかしSDGs推進計画について
- 2 「本のまち明石」の取組について
- 3 市民活動者等の取組と課題について
- 4 「本のまち明石」のこれから
- 5 ビジョン検討委員会のスケジュール案について



まちづくりの方針

～あかしSDGs推進計画の概要-2030年のあるべき姿～



まちづくりの方針

～あかしSDGs前期戦略計画の概要-施策展開-～

あかしSDGs前期戦略計画 (明石市まちひと・しごと創生総合戦略(第2期))		施策展開の5つの柱														
		柱①			柱②			柱③			柱④			柱⑤		
施策展開の柱	展開の方向	豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める			笑顔あふれる共生社会(インクルーシブ社会)をつくる			こどもの育ちをまちのみんななどで支える			安全・安心を支える生活基盤を強化する			まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す		
		1 脱炭素社会の実現	2 循環型社会の実現	3 自然環境の保全と活用	1 支え合う地域づくり	2 自分らしく生きることが出来る社会づくり	3 健康・長寿の推進	1 安心して子育てができる環境の整備	2 一人ひとりに応じた質の高い教育の推進	3 子どもの状況に応じた適切な支援	1 防災・感染症対策の強化	2 日常の安全・安心の確保	3 誰もが利用しやすく安全で強靱な都市基盤の整備	1 地域産業の振興	2 豊かな心を育む文化・芸術の推進	3 まちの魅力を生かした賑わいの創出
主要施策とKPIを設定																
効率的・効果的な行政運営																
① SDGsの更なる推進 ② 持続可能で自立した行政経営																

本のまちの推進

- ・まちなか図書館
- ・読書バリアフリーの推進
- ・新たな図書館の検討など

もくじ

- 1 あかしSDGs推進計画について
- 2 「本のまち明石」の取組について
- 3 市民活動者等の取組と課題について
- 4 「本のまち明石」のこれから
- 5 ビジョン検討委員会のスケジュール案について



目指してきた「本のまち明石」の方向性

障害の有無や年齢等に関わらず、「いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば『本』に届く」環境をつくることで、「教養・文化の薫り高いまち」、「思いやりや、やさしさのあふれるまち」、ひいては人々が住みたい、住み続けたいと思えるまちへとまちの魅力を高める、まち全体の将来に向けた取組のひとつです。

手を伸ばせば
本に届く
環境の整備



教養・文化の
薫り高いまち
／思いやりや
やさしさの
あふれるまち



住みたい
住み続けたい
と思えるまち



手を伸ばせば本に届く環境の整備とは

「いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば『本』に届く」環境の整備の狙い

↓
出来るだけ本に親しんで貰う = 「本とつながる」の促進



あかし市民図書館



移動図書館車



ブックスタート・ブックセカンド

場の充実を図る取組



まちなかブックスポット



読書バリアフリーコーナー
(西部図書館)

本に親しむ機会をつくる取組



保育絵本士養成講座



場の充実を図る取組①

取組	概要
図書館	<ul style="list-style-type: none"> 市としてあかし市民図書館(約50万冊)、西部図書館(約12.5万冊)を運営。 市内に県立図書館あり(約66万冊)。 閲覧等補助機器の設置などユニバーサルサービスも充実。
移動図書館	<ul style="list-style-type: none"> 市内81カ所を巡回(約4.5万冊)。予約本の受渡も実施。
宅配サービス	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルサービスの一環として障害者手帳2級以上の方など来館困難者に無料で宅配サービスを実施するもの。令和5年度より妊婦の方へも拡充。
電子図書館	<ul style="list-style-type: none"> 電子書籍をPC、スマホで貸出・閲覧可能(約1万タイトル)。
こども図書室	<ul style="list-style-type: none"> 明石駅、大久保駅、西明石駅の子育て支援センター内に設置(約2万冊)。
ユーススペース	<ul style="list-style-type: none"> ダンス、バンド活動、勉強など自由に過ごせる若者たちの居場所(約140冊)。
夢文庫	<ul style="list-style-type: none"> こども基金を活用した子どもたちや親子の居場所。図書貸出、読み聞かせなどを実施(市内8カ所)。
ブックスポット	<ul style="list-style-type: none"> 公共・私設の本のある場所。市内75カ所(うち、図書館3、こども図書室3、夢文庫8)。
学校図書室	<ul style="list-style-type: none"> 小中42校すべてに設置(約61万冊)。 図書館の蔵書を学校・園・児童クラブに貸出(約2.6万冊/年)。



場の充実を図る取組② ～主なユニバーサルサービス～

図書館の 資料	サピエ図書館	市	・ 視覚障害者に対し様々な情報を点字、音声データ等で提供するネットワークシステム(約35万タイトル)
	録音図書	市 西	・ 視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な方のために作られたデジタル録音図書(約3,000タイトル)
	点字資料	市	・ 点字の図書(約850タイトル)
	大活字本	市 西	・ 通常の本の文字の大きさでは読みにくい方のための大きな文字の本
	LLブック	市 西	・ わかりやすい文章や、絵やシンボル(絵記号)などを活用した知的障害や発達障害の方々向けに工夫した資料
図書館の 機器	読み上げ機	市 西	・ 印刷物を読みとり、音声で読み上げをする機器
	デイジー再生機	市 西	・ デジタル録音図書やデイジー図書を再生
	拡大読書器	市 西	・ 読みやすさにあわせて文字や画像などを拡大
	点字ディスプレイ	市 西	・ 点字図書のデータを手元で点字表示
	Your Eyes	市 西	・ 本のページをスマートフォンで撮影すると文字を読み上げ
サービス	郵送サービス	市	・ 障害者手帳2級以上の方、妊婦など来館困難者に図書を郵送
	対面朗読	市 西	・ 朗読協力者(ボランティア)による対面朗読サービス



場の充実を図る取組③ ～図書館の拡充～



新たな図書館を二見、西明石で整備予定、大久保で検討中



これから創る図書館

あかし市民図書館 西部図書館

約50万冊／約12.5万冊

- 多くの専門書を揃える
- 高度なレファレンス機能を持つ

(仮称)二見図書館



※整備イメージ

最大3万冊 約1.5万冊スタート

- 過ごしやすい居場所がある
- 交流／情報共有の場がある
- 基本的なレファレンス機能を持つ
- 他の図書館蔵書の予約や返却が可能など

本がある、くつろげる居場所
リビング＆ライブラリー



本に親しむ機会をつくる取組

取組	概要
ブックスタート	<ul style="list-style-type: none"> 2017年スタート。4ヶ月児健診時に絵本2冊、絵本リスト、読み聞かせのアドバイス集、子育てに関する冊子などをパックにしてプレゼント(2023年度は2,224組に配布)。
ブックセカンド	<ul style="list-style-type: none"> 2018年スタート。3歳6ヶ月児健診時に、保護者への図書館司書による絵本相談を行うとともに、絵本1冊をプレゼント(2023年度は2,809組に配布)。
保育絵本士養成講座	<ul style="list-style-type: none"> 市内の幼稚園や認可保育施設に勤務する幼稚園教諭、保育士、保育教諭を対象とした講座。 絵本に関わる知識や絵本を通じた教育や保育の知識などを習得するもの。 基礎コースは2018年度以降累計102人、応用コースは2019年度以降累計37人を認定。
放課後ブックサークル	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブに通う子どもたちに様々な本に出合う機会を提供するため、28クラブ全てに図書館から放課後児童クラブに図書を貸し出すもの(約2.1万冊/年)。
学校図書室司書の配置	<ul style="list-style-type: none"> 学校司書を20名/42校に配置し、子どもの読書活動を推進。



もくじ

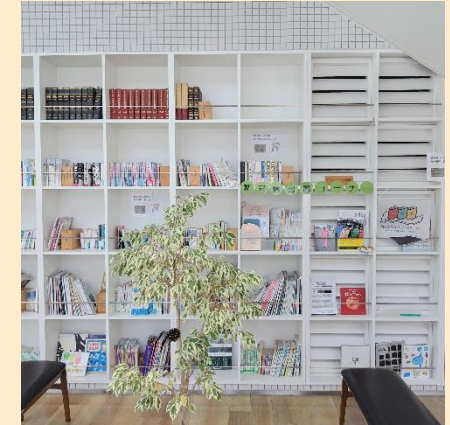
- 1 あかしSDGs推進計画について
- 2 「本のまち明石」の取組について
- 3 市民活動者等の取組と課題について**
- 4 「本のまち明石」のこれから
- 5 ビジョン検討委員会のスケジュール案について



ブックスポット:ふくやま病院(西新町駅前)

取組概要

- 7年前の病院の移転に合わせてクラウドファンディングで一部資金を調達し、病院の待合でブックスポット事業を開始。
- 貸出はせず、その場で読んで貰う形。
- ブックスポットとしてではないが、病棟にも本棚を設置。本に親しんで貰える環境を提供している。



取組課題

- 新型コロナウイルスの流行により、取組が停滞したが、クラウドファンディングで繋がった人たちとの活動を再開させ、取組の活性化を図りたい。
- 図書のリニューアルを行いたい。例えば書店と連携し、図書内容を検討するなどの取組も検討したい。
- 他の病院でも取組が広がるように働きかけたい。

本のまちに期待すること

- 人とのつながりが希薄になっているという問題を感じる。本は社会とつながるきっかけになる可能性がある。本のテーマによって集まったり話し合ったりなど本によって人をつながるような形になれば良い。
- 本を読まない人でもそのテーマに沿って話し合ったりすることもできる。本からつながる緩やかなコミュニティが形成されるようになれば良い。



ブックスポット:行こうよ♪みんなの本棚へ(大久保町西島)

取組概要

- 空き家問題とビジネスも含めた各種活動スペースの不足問題の解消に貢献するため、空き家を7年前から借りている。
- 新型コロナウイルスの流行により在宅勤務が増えるなど働き方が変わった。PC作業だけであれば自宅で取り組めるが、来客対応が難しい。
- また、絵本の読み聞かせなど、これまで謝礼なしで行っていた社会貢献事業を有償で行えるようなスペースも必要となっている。
- ブックスポットは2023年秋から開始。SNSで本の寄付を募り、助成金での購入分もあわせて550冊をラインアップしている。
- この場所に来てもらうきっかけの一つになれば、との思いから取組を開始した。



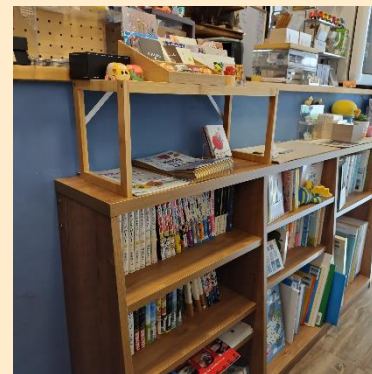
取組課題／ 本のまちに 期待する こと

- ブックスポットについては、助成金など何らかの支援がないと継続が難しい。
- ブックスポットの認知向上が必要。まずどのようなものなのかを知って貰う必要がある。
- そのうえで、本の冊数の情報だけでなく、どのような本があるのかまでわかるような情報提供ができるようになれば来訪者も増えるのではないかと期待している。

ブックスポット:あかしのよみば(西明石)

取組概要

- 2023年秋からブックスポットを開始。明石の地域情報をブログで発信する「明石じゃーなる」の事務所兼コーヒーショップの中にスポットを設けている。
- スペースが限られているので、明石の出版社の本や明石出身の著者など明石にまつわる図書を取り扱っている。
- 取組のきっかけは、転入してきた人に明石のことを知って欲しいという想いからである。
- 明石は子育て世帯が多く、こどもがまだ小さいときは図書館まで出向くのが難しい。そのような方々が気軽に立ち寄って貰えればという想いもある。



取組課題／本のまちに期待すること

- 新しい人へのアプローチが難しいがクチコミにより徐々に利用者を広げたい。
- ブックスポットという活動自体を知らない人が多い。市は、ブックスポットが100か所を超えた、とかトピックス的な出来事があればこまめに発信をしてほしい。
- 活動者同士の交流や図書館とブックスポットとの連携が進めば良い。
- 明石のいろいろな人のオススメ本を紹介するような取組があっても良いのではないかと。

ブックスポット:シェア本棚明石(魚住町西岡)

取組概要

- 中国で20年間仕事をした後、地元貢献したいと思い2022年6月より取組を開始した。
- 古本がある喫茶店であり、本棚の一部を貸し出す取組も実施している。本棚のオーナーは本を販売することも可能となっている。
- 図書によって店内閲覧のみ、購入のみ、貸出のみ、貸出・購入両方可能、と利用法が分かれている。
- 通学道路沿いにあるため小学生が多く立ち寄る。本を置いているということが保護者の安心感につながっている。



取組課題／本のまちに期待すること

- クリエイターの応援をしたい。地域を盛り上げるために本を書いたり、絵を描いたりするようなクリエイターを育てることも必要。シェア本棚明石では東播磨クリエイタージャーナルという知元の作家たちの作品を掲載する月刊誌を発刊し販売したり、地元の方が描いた絵画を展示・販売するなどによりクリエイターを支援している。
- 現在の取組をビジネスモデルとして確立し市内各所への展開を目指したい。



ブックスポット／夢文庫：魚住こども夢文庫(魚住小学校)

取組概要

- 従来から取り組んでいた魚住小学校区まちづくり協議会の喫茶スペースに併設する形で2022年6月に夢文庫を開設。小学校の図書ボランティアのメンバーや絵本好きのメンバーを中心に取組を開始した。
- コロナ禍で図書室ボランティアの活動がストップしたことを契機に取組検討を開始した。
- 本は開設時の市からの補助により多くを調達し、寄付も受けながら、現在1,400冊の蔵書を誇る。一部大人向けの図書もあり。
- 週二回、火曜日と金曜日が貸出日となっている。その場で本を読むのは随時可能。



取組課題／本のまちに期待すること

- 小学生を中心とした利用層となるため午前の利用者が少ないことが課題。幼稚園生の親の認知度が低かったため、ここへの訴求を行ったことで午前の利用数が向上した。
- 保育所が年少でも預かるようになったこともあり、市内の夢文庫全般の利用者数が減っている。
- ブックスポット数が多いがその存在が知られていない。認知の向上が必要。



図書ボランティア:おはなし隊ブックママ135°(中崎小学校)

取組概要

- 小学校における読み聞かせ(月に2回 1~3年の部と4~6年の部それぞれ1回ずつ)と図書室の本の整理・飾り付けをボランティアで実施している。
- 現在の活動者は25名(実働13名)でメンバーは変遷しながら、21年取り組んできた。
- もともとはPTA活動の一環であったがOBになっても関わりたいという想いから同団体を結成した。
- 学校以外でも、読み聞かせ活動でラジオ体操の場や放課後児童クラブなどにも出向いている。



取組課題/ 本のまちに 期待する こと

- 若い人たちも活動に参加しているが、担い手の面で不安。ただ、必要な人たちが出来る範囲でやってくれると思うので、あまり気負わずにやっていく。
- 昔は図書館でボランティアの勉強会があったが今はない。そのような取組も必要かと思う。



ボランティアリーダー：中脇健児氏

取組概要

- あかし市民図書館の立ち上げ時にボランティア団体等の意見の取りまとめを実施し、現在も取組を継続している。
- 読み聞かせを中心とした図書館ボランティアだけでなく、本以外の活動を実施する市民活動団体やボランティアも図書館の活動に入って来られるように3ヶ月～6ヶ月に一度のペースでワークショップを開催してきた。
- ワークショップ参加者を大きく、①従来の活動を図書館で実施したい人、②お手伝いをしたい人、③新しいことを図書館でしたい人に分け、グループごとに話し合い、その後全体で話し合う手法を採用した。
- ボランティア活動の内容としては当初は読み聞かせが大半であったが、現在は半分程度が他の種類のボランティア活動になるなど、その幅が広がっている。
- また、話し合いはボランティア活動のみにとどまらず、図書館全体の広報やPR方法についてまで広がってきている。

取組課題／ 本のまちに 期待する こと

- 現在の活動では、ボランティア活動の話だけでなく、イベントのこと、本のこと、施設全体のことまで広く話し合えるような場になることを目指している。
- 明石市ぐらいの規模になると図書館で個人のコミュニティを促進するよりは、例えば図書館と社協や図書館と地域団体、図書館とNPOなどの連携を通じて団体間の連携が生まれるような形になるのが良いと考える。
- 現在の活動の中でパラソル付の本が運べる屋台を作成して地域に出向き、様々な場所で小さな場を作れるような仕掛けが出来ないか検討している。そのようなアウトリーチが出来ればヤングケアラーの発見など福祉課題の解決のきっかけになるようなことも出来るのではないかと考えている。
- 本×教育や本×福祉、本×にぎわいづくりなど、本を介するコミュニティの形成により、市の課題解決のきっかけになるような取組が出来ると考えている。



商業者: ジュンク堂書店(パピオス明石)

取組概要

- 書店内において、図書館の人気本の紹介コーナーを作っている。このオススメコーナーは1~2ヶ月に一度、図書館担当者とジュンク堂担当者が話し合って紹介する本を決めている。
- 文化博物館の展示と連動したイベントを実施するなどの実績もある。



取組課題／本のまちに期待すること

- 図書館との連携は現状の取組以外は行えていない。本を扱うという土台は共通しているが、営利・非営利という目的の違いもあるので連携がなかなか進まない部分がある。
- 近い場所にあっても、商売上で問題になる点はない。図書が借りられていると買いに来てくれるなどプラスの効果がある。
- 活字離れを感じている。もっと活字に触れて欲しい。こどものころから読書に親しむ環境を作るのが有効と考える。このあたりの取組について期待したい。



商業者：巖松堂書店(大久保駅前)

取組概要

- 市内で営業する創業約50年のまちの書店。
- 兵庫県書店商業組合の第4支部(明石市・三木市)に加入。
- 市内3事業者で構成する明石図書納入組合にも加入。
- 明石図書納入組合においてブックセカンドの絵本等を納入。
- 店舗としては市立図書館の本の返却受付を行うことで市と協働している。



取組課題／ 本のまちに 期待する こと

- 個人書店の売上は減少傾向にあり、市内の個人書店数も減少している。
- 本のまちとして全国に目立つような取組を期待したい。例えば、独自の文学賞をつくり、大賞者は市内の出版社から出版できる、といった取組が実施できるとより盛り上げていくことが出来るのではないかな。
- 保育絵本土講座の取組は素晴らしいと感じる。保育士等以外にも対象を広げれば良いのではないかな。



もくじ

- 1 あかしSDGs推進計画について
- 2 「本のまち明石」の取組について
- 3 市民活動者等の取組と課題について
- 4 「本のまち明石」のこれから
- 5 ビジョン検討委員会のスケジュール案について

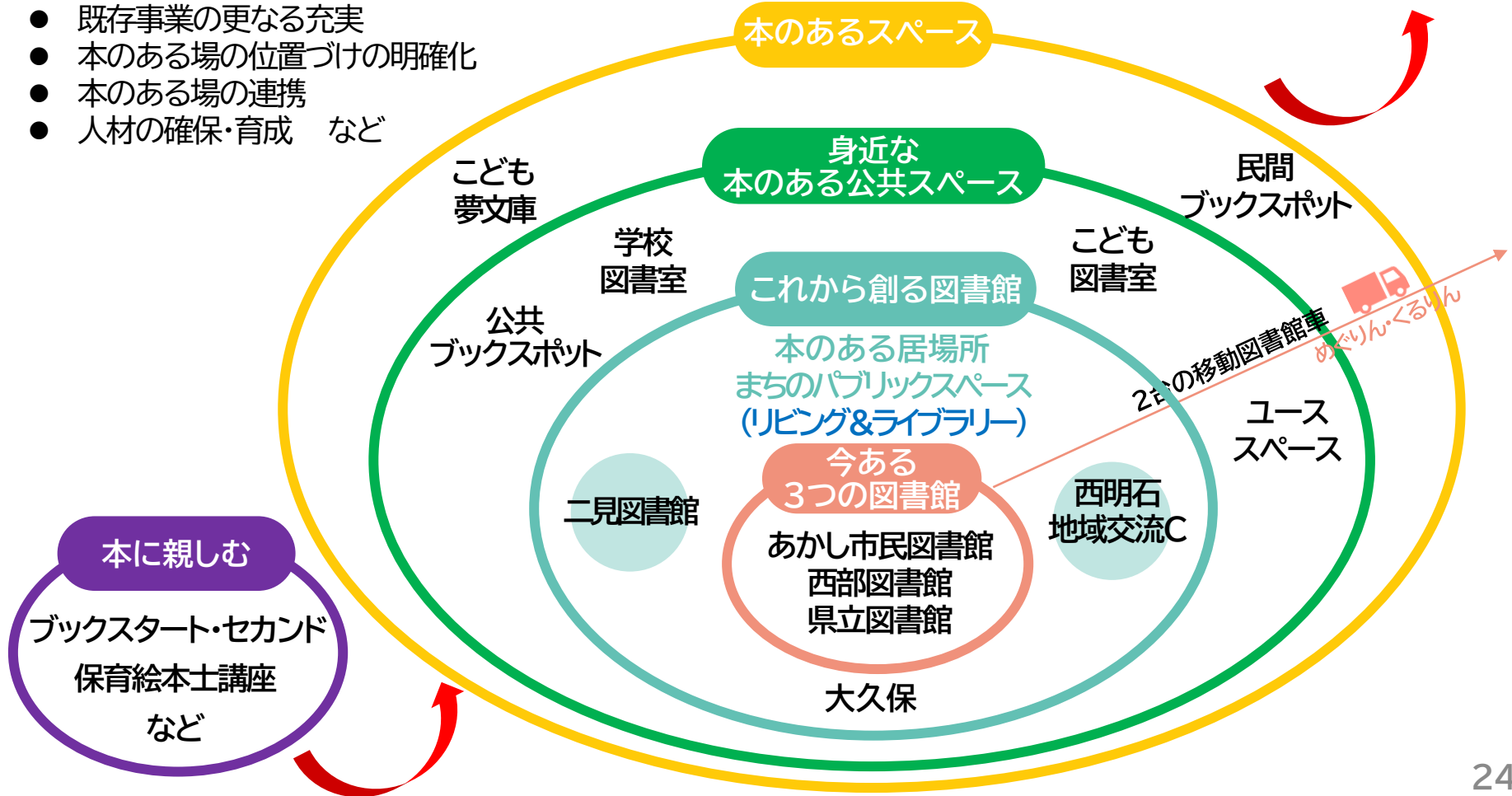


「本のまち明石」のこれから

「本とつながる」の充実

- 既存事業の更なる充実
- 本のある場の位置づけの明確化
- 本のある場の連携
- 人材の確保・育成 など

「本からつながる」への展開



「本のまち明石」推進による まちづくりの方針への影響



もくじ

- 1 あかしSDGs推進計画について
- 2 「本のまち明石」の取組について
- 3 市民活動者等の取組と課題について
- 4 「本のまち明石」の課題について
- 5 ビジョン検討委員会のスケジュール案について



ビジョン検討委員会のスケジュール案

